



## 今秋解体予定。荒尾競馬場の最後を見届けてみませんか。

1928年に開設、2011年に本場開催が廃止された荒尾競馬場。現在は「南新地土地区画整理事業」を進めており、今後はこの地が「あらお海陽スマートタウン」として、新たなまちづくりの拠点へと変化していきます。道の駅と保健・福祉・子育て支援施設の複合施設がオープンする予定です。温浴施設やアウトドア施設、集合住宅・戸建て住宅など、事業者誘致と移住定住を進め、多くの方々が集い、子どもから高齢者まで、すべての皆さんが心豊かに健康で快適に過ごせるまちを目指しています。

荒尾競馬場の当時の面影が残るスタンドはこれから解体が始まります。8月28日に「荒尾競馬場スタンド自由見学会」を開催しますので、ぜひお越しください。荒尾競馬の最後の姿を目に焼き付け、それぞれの思いを馳せてみませんか？



2011年



2022年6月

事前申込不要・自由参加

参加費無料!

荒尾競馬場の最後の姿を記憶に残しませんか。

# 荒尾競馬場スタンド自由見学会

日時 **8月28日(日) 10時~16時** ※最終入場 15時30分

場所 **旧荒尾競馬場スタンド** 対象 **どなたでも(18歳未満は保護者同伴)**

駐車場はこちら▼



- 注意事項**
- ※見学現場内の設備や機械には、無断で触れないようお願いします。
  - ※自由見学に伴う事故などの責任は負いかねますので、責任ある行動をお願いします。
  - ※館内に空調設備はございません。各自で暑さ対策をお願いします。
  - ※雨天時も開催します。(台風や大雨警報発令などの極端な悪天候の場合は中止する場合があります。その際は、ホームページや愛情ねっとでご連絡します。)

新型コロナウイルス感染症防止・予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

- 当日は、自宅で検温を行ってからお越しください。
- 発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお控えください。
- 会場では、マスク着用とアルコールでの手指消毒にご協力をお願いします。

問 都市計画課 ☎63-1635

「始まりがあれば終わりがある」と口では言うものの、感慨深い。

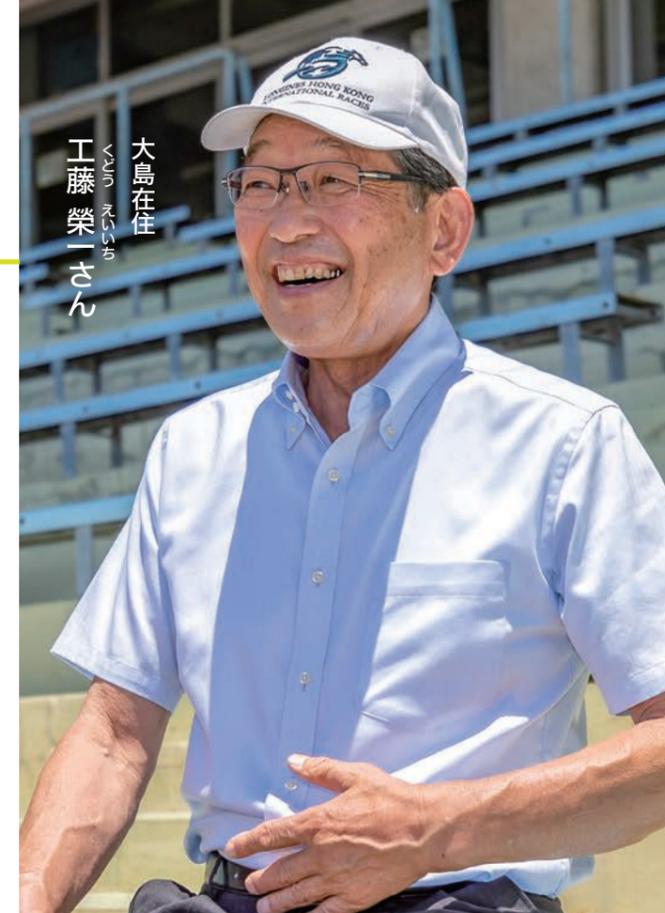
小学生の頃に父が競走馬の生産を始め、家族で馬に携わる仕事をしていました。私は馬の世話をする厩務員を経て、1984年に開業してから荒尾競馬廃止までの27年間、調教師を務めました。夜中の2時・3時から働き、若い時は疲れ知らずで毎日10~20頭を調教管理。その仕事のかたわら、近い将来、馬不足になることを想定し「調教師の仕事だけをやっているのはダメだ」と北海道や関東・関西へ足を運び、中央競馬で活躍できなかった馬などを荒尾に移籍してもらっていました。しかし、競馬場が赤字になるにつれ、賞金や競走馬、調教師や騎手が減り、競馬場の廃止が決定。競馬場がなくなるのは惜しかったけど、みんな納得していましたね。

厩舎の解体が始まったころは、毎日取り壊されていくのを見に行っていました。この広い敷地を活かして、活気ある街になってほしいです。競馬場前を毎日の散歩コースにしていますが、これから変わっていく様子を楽しみにしています。

Interview

## 荒尾競馬と共に生きてきた2人

大島在任  
工藤栄一さん



当時の賑わいを知っているからこそその寂しさはあるが、今後に期待。

私の父は競馬の着順を予想し、その情報を販売する予想業をしていました。子どもの頃から父について荒尾競馬場に行くことが当たり前になっていたので、20歳の頃に父の後を継ぎ私も予想屋になりました。厩舎に出入りし、厩務員や調教師・騎手に馬の調子などを聞いて予想していました。競馬場が賑わっていた時代を知っているのが馬が減り、5頭だけのレースなどを見ると寂しさを感じました。

ひしひしと覚悟はしていましたが、新聞の記事で荒尾競馬が廃止になることを知りました。当時は私の子どもがまだ学生だったので、頭が真っ白になりましたが、競馬専門紙協会の一人で「競馬ブック」を発行する松井社長のおかげで、競馬場がなくなっても予想専門紙を売ることができ、現在は飲食店を営みながら予想専門紙の販売も続けています。

6月に馬券の場外発売所「BAOO荒尾」もリニューアルオープンし、活気が戻りつつあります。スタンドの解体は寂しいですが、これからの荒尾に期待して頑張っていきます。

宮内出目在任  
福島勇一さん

